

表103 結核対策特別促進事業

厚生労働省通知に基づき、結核の罹患率や有病率の高い地域等で、地域の実情に応じ、効率的・効果的な結核予防対策を推進することを目的に、昭和62年度から重点的な対策事業として実施している。

事業名	内容										
川崎市結核対策DOT推進事業 (川崎市)	野宿生活者、簡易宿泊所居住者等の治療困難者に対して効果的なDOTを実施し、治療中断・脱落を防止して特定地域(川崎区は全国平均と比較しても罹患率が高い)内の治療成功率・罹患率を改善する。 延対象者数(川崎市) 169人 (23年末現在活動性88人 + 24年新規 81人)										
川崎市結核対策DOT推進事業 (川崎市全域)	結核患者に確実に抗結核薬を服用させることにより結核のまん延を防止するとともに、多剤耐性菌の出現防止を図る。 延対象者数(幸、中原、高津、宮前、多摩、麻生区) 303人 (23年末現在活動性159人 + 24年新規144人)										
治療成績評価事業	コホート検討会の開催により患者管理を徹底し、治療中断・脱落、治療失敗をなくすとともに多剤耐性菌の出現防止を図る。 開催回数 20回 (川崎区12回、川崎・中原・麻生区 4回、幸・宮前・高津・多摩区 4回) 評価対象患者数 89人 (肺結核喀痰塗抹陽性新登録患者数) 出席者 約100人										
ハイリスク者集団健診	<table border="0"> <tr> <td>総数</td> <td>675 人</td> </tr> <tr> <td>野宿生活者等健診</td> <td>59 人</td> </tr> <tr> <td>簡易宿泊所入所者</td> <td>167 人</td> </tr> <tr> <td>生活保護受給者</td> <td>393 人</td> </tr> <tr> <td>外国人労働者等健診</td> <td>56 人</td> </tr> </table>	総数	675 人	野宿生活者等健診	59 人	簡易宿泊所入所者	167 人	生活保護受給者	393 人	外国人労働者等健診	56 人
総数	675 人										
野宿生活者等健診	59 人										
簡易宿泊所入所者	167 人										
生活保護受給者	393 人										
外国人労働者等健診	56 人										

資料：健康安全部健康危機管理担当

表104 結核対策一般対策事業

事業名	内容
広報媒体による普及啓発	結核予防週間を中心に市内広報掲示版にポスターを掲示
結核研究所派遣研修	結核予防業務に従事する保健所職員を、公益財団法人結核予防会結核研究所に派遣し、最新の情報に基づく専門的実践的な知識及び技術の習得を図る。 医師 1人 臨床検査技師 3人 保健師 7人 事務職 4人
保健所職員職種別研修会	「IGRA検査の理論と検査技術について ～「T-spot・TB」について学ぼう～」 出席者： 38人 講師：一般社団法人免疫診断研究所 所長 原田 登之 先生 「結核分子疫学調査を用いた地域結核対策向上のための方策」 対象：結核予防業務従事職員 出席者： 44人 講師：公益財団法人結核予防会結核研究所 疫学情報センター長 臨床・疫学部副部長 大角 晃 弘 先生

資料：健康安全部健康危機管理担当